

神奈川の研究者紹介

氏名	遠藤 雅伸 (えんどう まさのぶ)	
現職	東京工芸大学芸術学部ゲーム学科 教授	
主な経歴	千葉大学卒業後、ゲーム作家として作品多数 東京大学大学院情報学環特任講師を経て現職	
専攻分野・研究テーマ	ゲームデザイン (Ludology)	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門審査委員 2. 遠藤雅伸のゲームデザイン講義実況中継, 2012, ソフトバンククリエイティブ. 3. 書込み式ループすごろくを使ったレベルデザイン演習, 2013, 日本デジタルゲーム学会年次大会. 4. 世界を創る, 2013, 日本バーチャルリアリティ学会. 5. ゲームに生きる画像技術, 2014, 日本写真学会誌. 	
神奈川県との 関わり	2016年9月: 相模原市立 市民・大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」における市民セミナーの講演	
メッセージ	<p>【現在研究している領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本ゲームの特性の明示と、コンセプト主導での制作メソッド 2. クロスモーダルな脳の認知と体験 3. 自己主体感を損なわないモチベーションの創出 4. ゲームビジネスにおける新たなビジネススキーム 5. 競争以外のメカニクスデザイン 6. プレイヤーのスキルレベルに依存しないレベルデザイン <p>【神奈川県との連携に期待すること】 県下の大学を集めた作品や研究発表の場の継続的な提供</p>	
連絡先	〒 164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学芸術学部ゲーム学科 電話: 03-5371-2904 E-mail: m.endo@game.t-kougei.ac.jp	

神奈川の研究者紹介

氏名	鈴木 秀和 (すずき ひでかず)	
現職	東京工芸大学 工学部電子機械学科 准教授 (博士 (工学))	
主な経歴	福井大学大学院工学研究科システム設計工学専攻博士後期課程修了。福井工業高等専門学校機械工学科助手・講師を経て現職。	
専攻分野・研究テーマ	ロボット工学／画像処理工学 ロボティクス, ロボットビジョン, ロボット教育	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<p>【論文】 鈴木秀和, 森崎巧一, 渡邊香, 林原泰子, 西仁司, " 動物型 4 脚ロボットにおける歩容生成と印象評価 ", 知能と情報, Vol. 24, No. 5, pp. 1012-1022, 2012 他</p> <p>【ロボットコンテスト成績】 ロボカップ日本大会 2016 ロボカップサッカー中型リーグ 準優勝 他</p> <p>【委員・役員歴】 公益財団法人ニューテクノロジー振興財団理事, 厚木市ロボット産業推進協議会委員, 厚木発! ロボットを活用した地域在宅高齢者支援サービスプロジェクト外部専門委員, 全日本マイクロマウス大会実行委員長, ロボカップ日本委員会中型リーグ運営委員</p>	
神奈川県との 関わり	<p>神奈川県主催「青少年のためのロボフェスタ」体験デモ, 伊勢原市立子ども科学館体験デモ, 厚木市後援「全日本マイクロマウス大会 2014, 2015」開催 他</p>	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】 福祉・医療・介護・ホームロボットの様な新産業ロボットのための全方向移動プラットフォームの構築を行っています。現在は大企業がほとんどを占めるこの分野に中小企業が進出する一助となればと開発を進めています。また、ものづくりの将来を担う次世代技術者の育成を目的としたロボット教育を研究しています。効率的なロボット教材の開発と、ロボットコンテストの開催・参加もしています。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】 神奈川県には「さがみロボット産業特区」があり、様々な取り組みが推進されています。この活動を期間限定的な活動で終わらせず、神奈川県の定常的な活動として定着させるため、次世代を担う技術者の卵の育成が重要です。ロボットの産業的な利用だけでなく、教育的な利用についても力を入れて頂くことに期待します。</p>	
連絡先	<p>〒 243-0297 神奈川県厚木市飯山 1583 東京工芸大学厚木キャンパス 電話：046-242-4111 (代表) E-mail：hsuzuki@em.t-kougei.ac.jp</p>	